

「自分の命を自分で守る力」

6月30日、朝からの雨は激しさを増し、午後からは避難警報が発令されるという状況になりました。急な判断でしたが、午前中で授業を中止し、下校することとしました。安心・安全メールを発信し、子どもたちに安全確保の話をしてから下校させ、職員は見守り指導につきました。帰り着いた生徒には、タブレットを使って、担任に報告をしてもらうという対応を取りました。急な対応だったにも関わらず、保護者の皆様のご協力もあり、無事全員帰宅することができました。しかし、この中でいくつかの課題が見えてきました。

- 土砂降りの雨の中、安全対応の話聞いたにも関わらず、雨具もつけずにすぶ濡れて帰った生徒がいたこと
- 9割を超えるご家庭が車で迎えに来てくれていましたが、事前に車の待機場所等の設定ができていなかったために、混乱が生じたこと
- 急な連絡に対応ができないご家庭があり、その場合の次の対応策の打ち合わせができていなかったこと
- 宮川周辺、八山橋等が通行止めになった場合の別ルートの設定が、子どもたちに難しかったこと
- 帰宅確認の連絡を忘れた生徒が複数出たこと 等

これらの反省点を受けて、下に示すような「湯布院中学校の緊急対応時の基本方針」をお示ししたいと思います。詳細は、学校ホームページに「湯布院中学校危機管理マニュアル」を示させていただきます。

これをふまえて、子どもたちとは、7月4日に実施した避難訓練の中で、「日頃から、いざという時の自分の行動を考えておくことの大切さ」「集団で避難をする時のルールの必要性」「最後は、一人ひとりが自分で判断して、自分の命を守る行動をすることの大切さ」について、確認しました。

【湯布院中学校緊急対応時の基本方針】

- 登校時、危険を感じた場合は、各家庭にて判断し、無理をして登校させないでください。
 - ・それに伴う出席の扱い及び学習補充については、可能な限り学校で配慮を行います。
- 緊急時に授業を中止し、生徒を下校させる場合は、安心安全メールにて発信を行います。
 - ・徒歩及び自転車で下校する生徒は、教職員が可能な限り安全確認をして下校させます。
 - ・バス通学生については、バスの状況を確認し、運行の場合は別室にて待機させます。
 - ・バスが運休する場合は、別に連絡をし、帰宅困難な生徒の対応については、協議します。
 - ・保護者が迎えに来る場合は、まず保護者の方自身の安全の確保を行ってください。
 - ・保護者の迎えの車は、1年生（BG 体育館駐車場）2年生（体育館前駐車場）3年生（教職員用駐車場）を待機場所とします。
- 急な連絡が必要な場合は、学校（0977-84-2026）に電話をしてください。
- 帰宅後は、タブレットによる連絡又は電話にて、学校に必ず連絡をしてください。

シリーズ「つながる」！親子で語り合いませんか！

「災害の時、どう行動するのか？私たちの通学路にはどんな危険があるのか？」

水害だけでなく、これからも心配される、台風、地震、大雪……。そんな緊急時にどう行動するのかを、ご家庭で十分に話し合っておいてください。これがいざという時に、命を守ります！！「急な下校の際の対応の仕方」「緊急の際の避難場所、連絡の取り方」「お家の方と連絡が取れない場合の他の連絡先」「通学路の危険箇所」「もしもの時の回り道」「避難時に持ち出すもの」などについて、ぜひ話題にしてください！！

